

科目名	数理演習 Exercise of Mathematics			担当教員	橋本良夫		
学 年	2 年	学 期	通 年	履修条件	必修	単位数	1
分 野	一般	授業形式	講義	科目番号	17120017	単位区分	履修単位
学習目標	専門科目を学習する上で必要となる、式の計算、因数分解、方程式、平面ベクトル、三角関数などに関して、数式の処理法の基礎を復習し、基本的な問題が解けるようにする。						
進め方	演習問題を解き、後日、模範解答を元に自己採点することで、理解の定着をはかる。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	ガイダンス (1)			シラバスに基づいて、授業の進め方、成績の評価方法について説明する。			
	1. 数と式の計算 (6)			・ 整式と分数式の加減乗除の計算ができる。 ・ 分母の有理化や簡単な無理式の計算ができる。 ・ 累乗根、指数法則を利用した計算ができる。 学習・教育目標: (B-1)			
	[前期中間試験] (2)						
	試験返却 (1) 2. 平面ベクトル (6)			・ 平面ベクトルの基本的な計算ができ、大きさを求めることができる。 ・ 平面ベクトルの内積を用いる基礎的な問題が解ける。 ・ ベクトルの性質を用いて図形的な問題が解ける。 学習・教育目標: (B-1)			
	前期末試験						
	試験返却 3. 三角関数 (7)			・ 三角関数および三角関数の加法定理について理解し、それらを事象の考察に活用できる。 ・ 三角関数を用いて、ベクトルの分解や合成ができる。 学習・教育目標: (B-1)			
	[後期中間試験] (2)						
	試験返却 (1) 4. 方程式 (6)			・ 解の公式や因数定理を利用して高次方程式を解くことができる。 ・ 連立二元方程式を解くことができる。 学習・教育目標: (B-1)			
後期末試験							
試験返却 (1)							
評価方法	授業中に行う小テストを 30%、定期試験を 70%として評価する。						
履修要件	特になし						
関連科目	基礎数学Ⅰ・Ⅱ（1 学年） → 基礎数学Ⅲ・微分積分Ⅰ（2 学年）						
教 材	配布プリント						
備 考							